

みやぎの畜産

令和5年3月版



県内銘柄卵・豚肉販売会の開催



特定家畜伝染病防疫演習



飼料作物栽培展示ほ



畜産ICT技術導入支援（超音波診断）



第13回全共第6区集合写真（優等賞第6席）



「昭光茂」号が宮城県基幹種雄牛に選抜

目 次

◎	令和4年度トピックス	1
I	宮城県農業の概要	2
II	宮城県畜産業の概要	3
III	畜産経営の概況	4
IV	乳用牛	5
V	肉用牛	6
VI	豚	8
VII	鶏	9
VIII	食肉と家畜の流通	10
IX	畜産物の放射性物質測定検査	11
X	畜産物の消費動向	11
XI	草地飼料	12
XII	配合飼料	15
XIII	畜産環境	16
XIV	家畜衛生	17
XV	動物薬事	22
XVI	宮城県畜産関係行政機関一覧	23

～令和4年度トピックス～

1 みやぎの酪農家を応援！牛乳 ごくごくキャンペーン

飼料・資材価格の高騰等により酪農経営は厳しい状況が続いており、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により牛乳の需要が落ち込んでいます。

そこで、宮城県牛乳普及協会では、県内の酪農家の方が搾り、県産牛乳のみにより県内工場で製品化された「宮城県産」牛乳を対象とした「みやぎの酪農家を応援！牛乳ごくごくキャンペーン」を開催いたしました。

牛乳の消費が落ち込む年末年始に本キャンペーンを実施し、県産牛乳の消費拡大、飼料・資材価格の高騰で苦しむ県内酪農家の支援を図りました。



2 飼料自給率向上に向けた取組 ～子実用とうもろこし～

不安定な国際情勢を背景に配合飼料価格の高騰が続いており、畜産経営に深刻な影響を及ぼしています。

配合飼料の原料である輸入とうもろこし価格の高騰対策及び大豆の水田転作における連作障害対策として、子実用とうもろこしの作付け面積が飛躍的に増加しました。（令和4年度作付面積158ヘクタール）

県内産の子実用とうもろこしを積極的に活用する畜産経営体もでてきており、今後も作付け面積の拡大が見込まれています。



3 第12回全国和牛能力共進会 ～宮城の特色ある牛が高評価～

令和4年10月6日から10日までの5日間、鹿児島県で第12回全国和牛能力共進会が開催されました。

和牛主産地の鹿児島県での開催であったため、九州勢が上位をほぼ独占しましたが、本県は全出品区の中で最も重要とされる第6区（総合評価群）において優等賞6席を獲得、肉牛の部ではすべての出品牛が5等級に格付けされるなど、宮城の特色ある牛づくりの成果や肥育技術の高さを示すことができました。

今後、鹿児島大会の成果と課題を十分に検証しながら、生産者や関係団体とともに5年後の第13回全共北海道大会に向けた対策に取り組んでいきます。



4 高病原性鳥インフルエンザ対策強化 ～消毒用消石灰を配布～

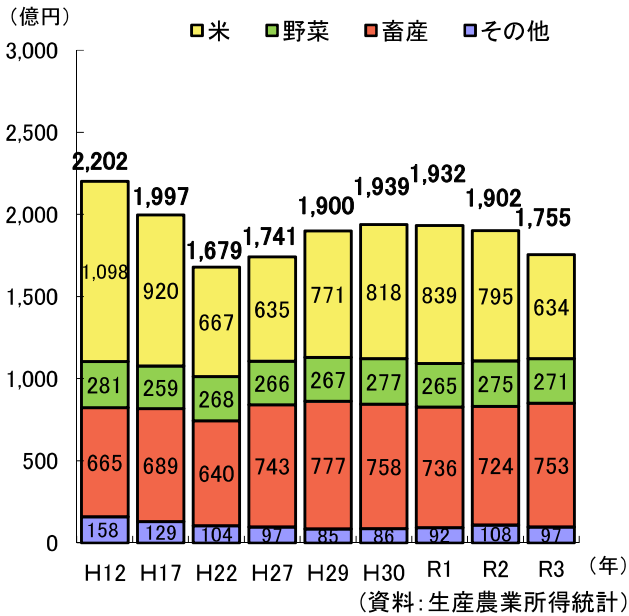
令和4年10月以降、国内の養鶏場等での高病原性鳥インフルエンザの発生は、過去最多を記録しました。宮城県では発生の防止対策を強化するため、県内の養鶏場において令和4年12月から翌年3月まで、消石灰の散布による農場及び鶏舎の周囲の消毒を繰り返し行いました。

令和5年2月には、宮城県から県内の養鶏場（飼養羽数100羽以上）122農場に対して、消石灰5,652袋（総重量約113トン）を配布して支援を行いました。

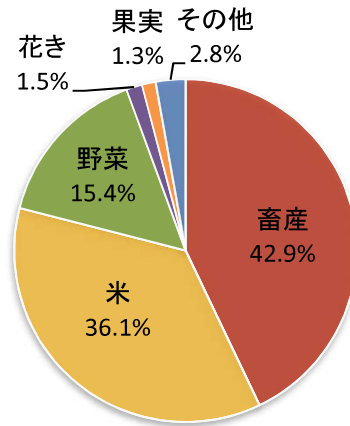


I 宮城県農業の概要

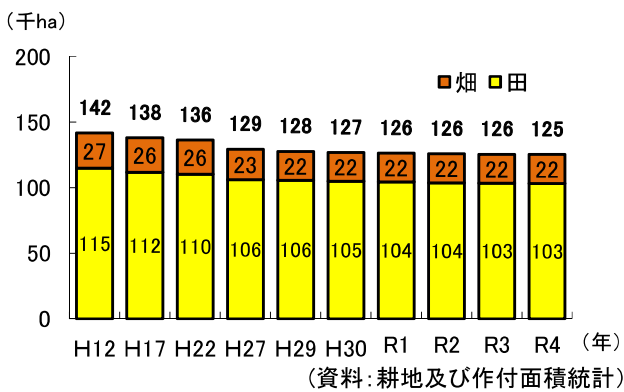
1 農業産出額の推移



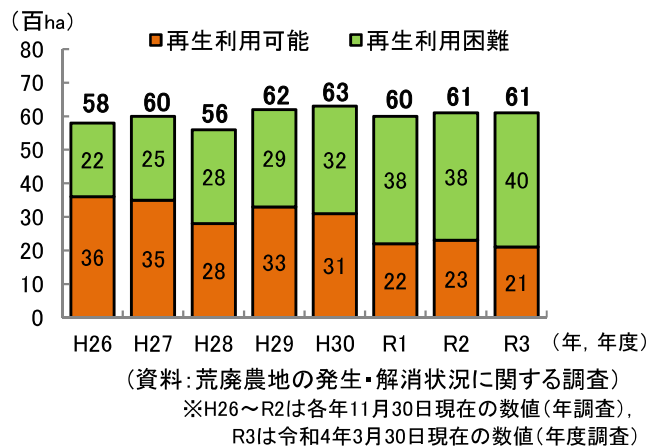
2 農業産出額構成比 (令和3年)



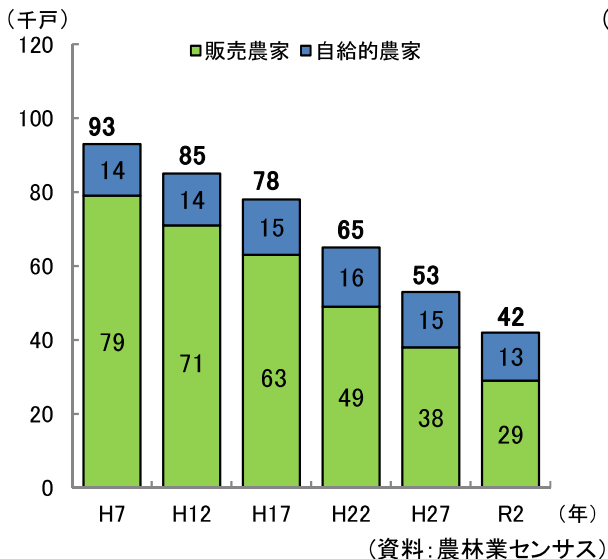
3 耕地面積の推移



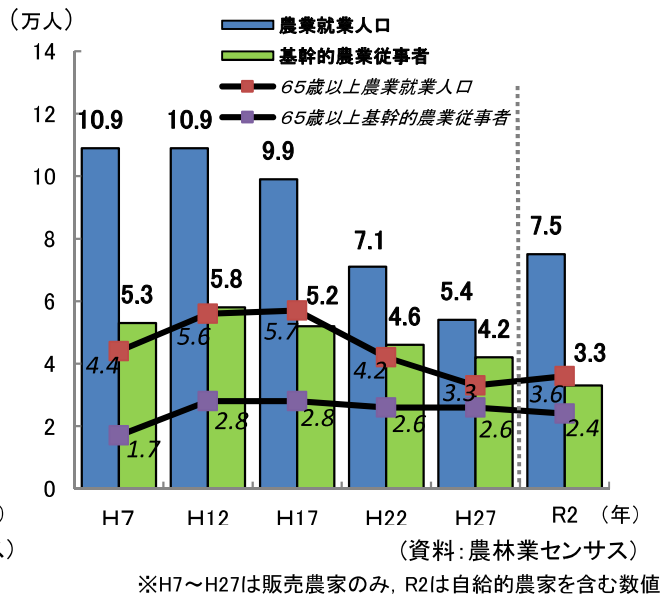
4 荒廃農地面積の推移



5 総農家数の推移

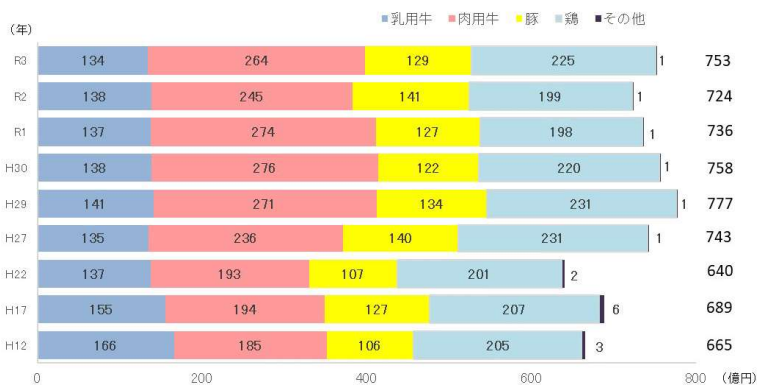


6 農業就業人口と基幹的農業従事者数の推移



II 宮城県畜産の概要

1 宮城県の畜種別畜産産出額の推移



(資料:生産農業所得統計)

2 宮城県の畜種別新規就農者数

令和3年4月1日～令和4年3月31日 [単位:人]

区分	自営就農	雇用就農	新規参入	合計
畜産	12	15	0	27
肉用牛	9	8	0	17
乳用牛	2	5	0	7
豚	1	1	0	2
鶏	0	1	0	1

(資料:令和3年度新規就農者の動向について (宮城県農政部農業振興課))

3 宮城県及び全国の家畜飼養戸数, 頭羽数

令和4年2月1日現在 [単位:戸, 頭, 千羽, %]

区分	宮 城 県					全 国				
	飼養戸数	頭羽数*	一戸当たり頭羽数*	対前年比*		飼養戸数	頭羽数*	一戸当たり頭羽数*	対前年比*	
				戸数	頭羽数				戸数	頭羽数
肉用牛	2,690	80,000	29.7	95.4	100.0	40,400	2,614,000	64.7	96.0	100.3
乳用牛	430	17,800	41.4	94.1	97.8	13,300	1,371,000	103.1	96.4	101.1
豚	94	187,000	1,989.4	86.2	94.0	3,590	8,949,000	2,492.8	93.2	96.3
採卵鶏	38	3,947	103.9	102.7	105.1	1,810	180,096	99.5	96.3	99.5
ブロイラー	37	1,958	52.9	90.2	98.4	2,100	139,230	66.3	97.2	99.7

* 対前年度比のうち採卵鶏の頭羽数,ブロイラーの戸数および頭羽数については,令和3年2月1日調査値比

* の採卵鶏は,ひなと成鶏めすを合計した羽数を使用

(資料:畜産統計)

4 全国からみた東北・宮城県の畜産の位置付け

令和4年2月1日現在 [単位:頭, 千羽]

区分	1 位	2 位	3 位	東 北		全国に占める宮城県の割合
				宮城県	東北主要県	
肉用牛	北海道 553,300	鹿児島県 337,800	宮崎県 254,500	8位 80,000	岩手県 5位 89,200	3.1%
乳用牛	北海道 846,100	栃木県 54,800	熊本県 43,600	9位 17,800	岩手県 4位 40,100	1.3%
豚	鹿児島県 1,199,000	宮崎県 764,200	北海道 727,800	16位 187,000	岩手県 6位 491,900 青森県 8位 358,600 秋田県 12位 260,300	2.1%
採卵鶏	茨城県 15,142	千葉県 12,837	鹿児島県 11,731	20位 3,947	青森県 8位 6,497 福島県 13位 5,882 岩手県 17位 5,149	2.2%
ブロイラー	鹿児島県 28,090	宮崎県 27,599	岩手県 21,095	15位 1,958	岩手県 3位 21,095 青森県 4位 8,058	1.4%

※採卵鶏は,ひなと成鶏めすを合計した羽数

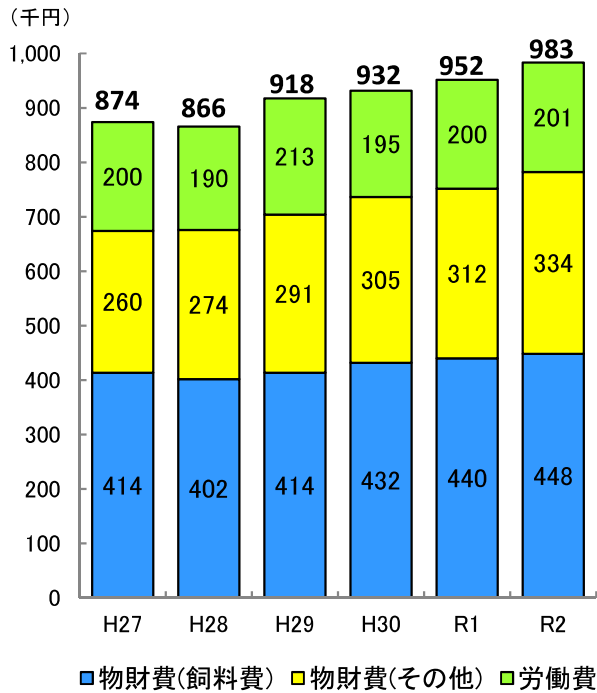
(資料:畜産統計)

Ⅲ 畜産経営の概況

○畜産物生産費（東北地方）

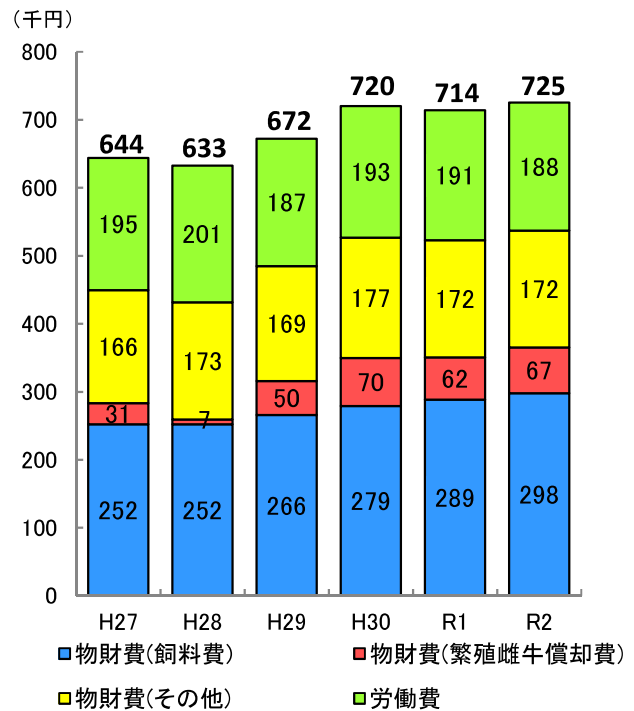
※調査期間について、H26～H30は年度（各年4月1日～翌年3月31日），R1,R2は年次（1月1日～12月31日）

1 牛乳生産費（搾乳牛1頭当たり）



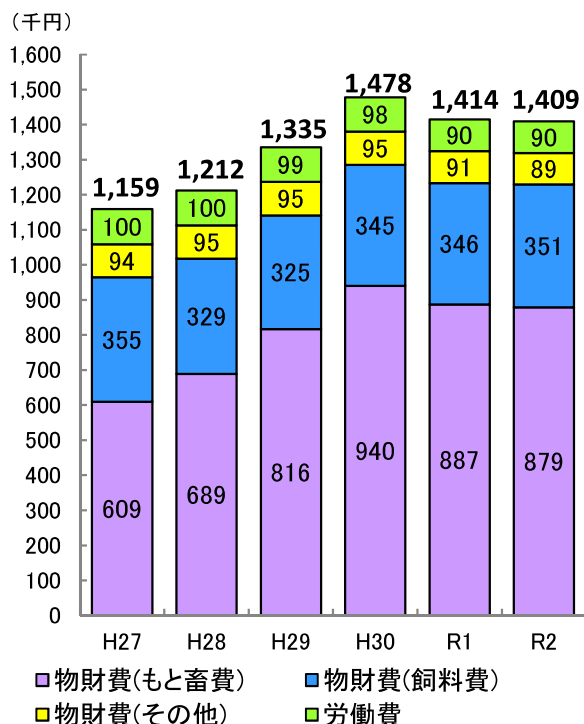
(資料:農林水産省「畜産物生産費統計調査」)

2 子牛（1頭当たり）



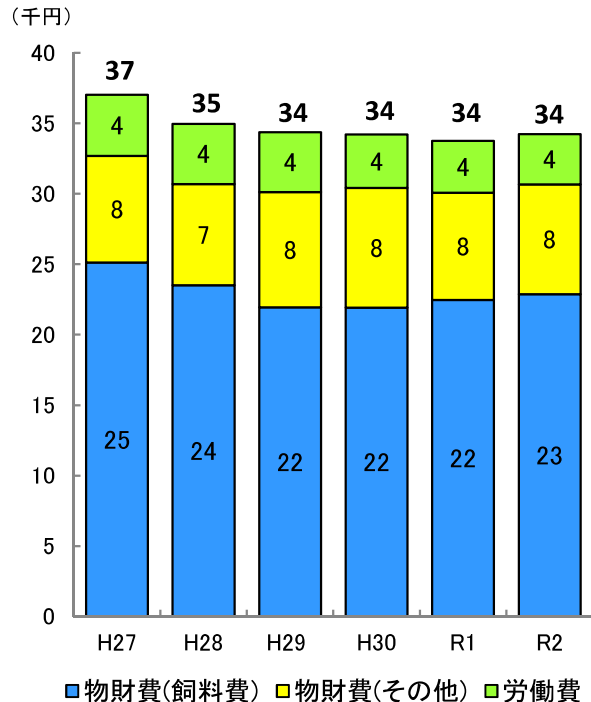
(資料:農林水産省「畜産物生産費統計調査」)

3 去勢若齢肥育牛（1頭当たり）



(資料:農林水産省「畜産物生産費統計調査」)

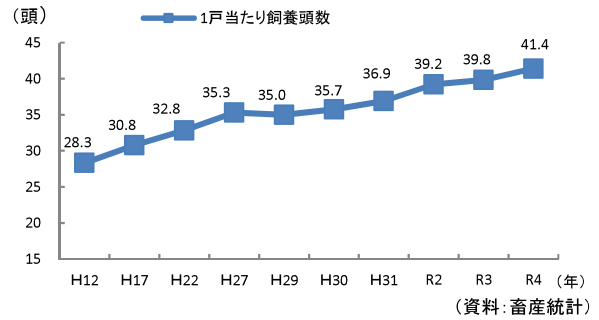
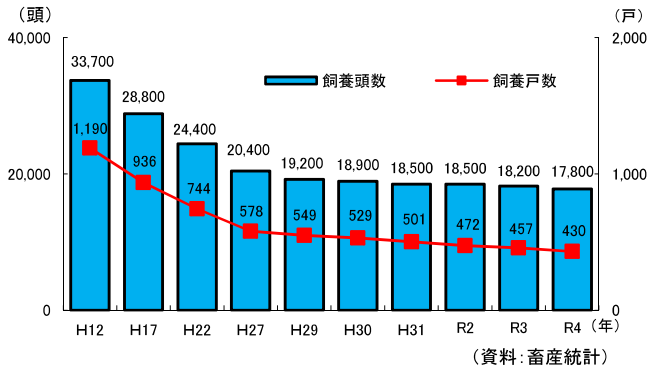
4 肥育豚（1頭当たり）



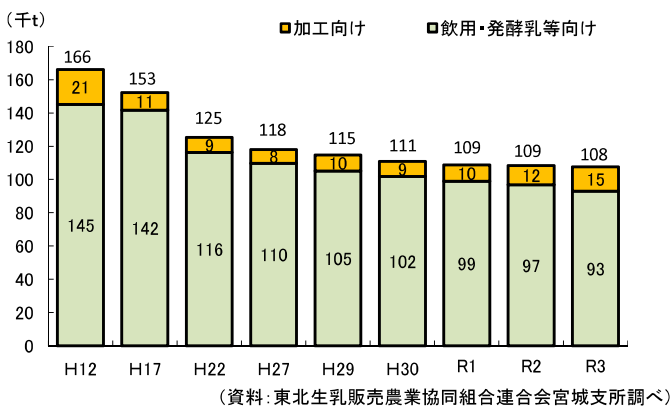
(資料:農林水産省「畜産物生産費統計調査」)

IV 乳用牛

1 飼養戸数と頭数の推移




2 生乳販売量の推移

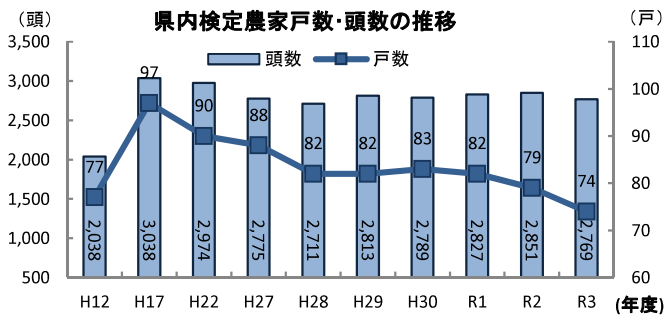


3 学校給食用牛乳供給実績(令和3年度)

供給事業者数	供給学校数	供給人数
3	599	188,630
供給本数	1人当たり供給本数	
34,058,613	180.6	



4 乳用牛群検定事業の実施状況



牛群検定巡回指導

■ 検定成績 (令和3年1月～令和3年12月平均, 乳用牛)

区分	乳量	乳脂率	蛋白質率	濃厚飼料 給与量	飼料 単価	乳価	乳飼比 ※1	飼料効果 ※2	搾乳 日数	分娩 間隔	分娩後初回 授精日数
	kg/日/頭	%	%	kg/日/頭	円/kg	円/kg	%		日	日	日
宮城県	31.0	3.89	3.37	11.9	62.6	107.9	22.3	2.61	386	449	112
都府県平均	30.1	3.92	3.37	11.7	58.9	111.1	20.6	2.57	380	443	99
北海道	31.2	3.97	3.36	10.9	52.9	100.8	18.3	2.86	359	422	88
全国平均	30.8	3.95	3.36	11.2	54.8	104.1	19.1	2.75	366	429	91

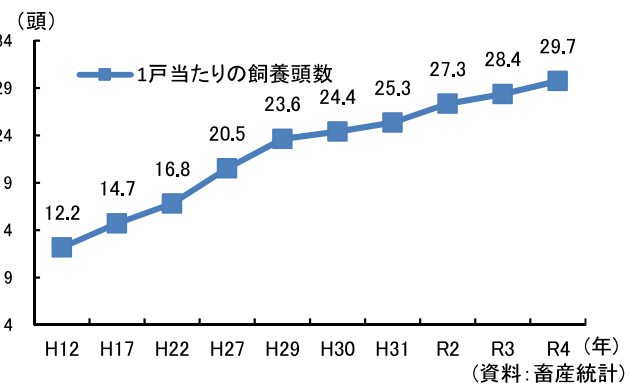
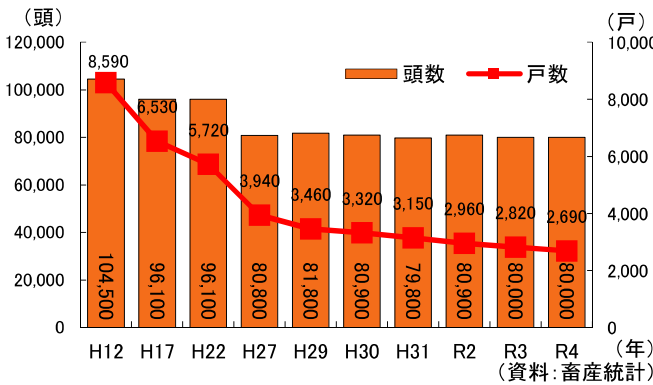
※1 乳飼比=濃厚飼料代/乳代

((一社)家畜改良事業団「乳用牛群能力検定成績のまとめ」より)

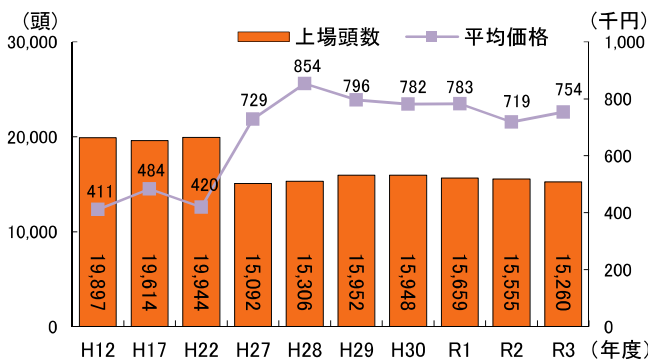
※2 飼料効果=乳量/濃厚飼料給与量

V 肉用牛

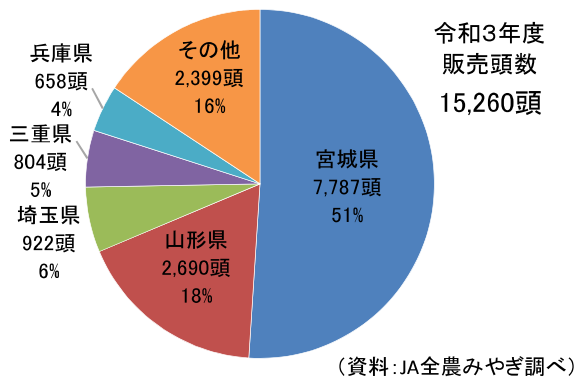
1 飼養戸数と頭数の推移



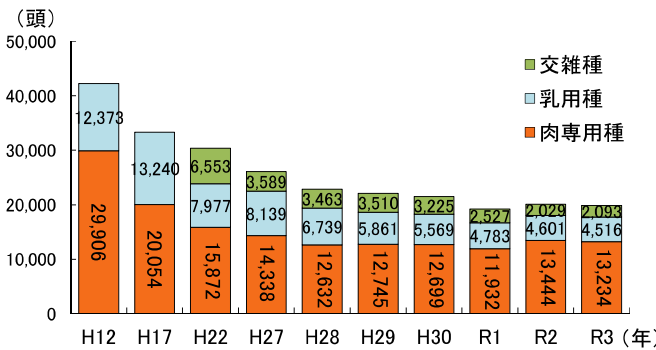
2 肉用子牛の取引頭数, 価格の推移



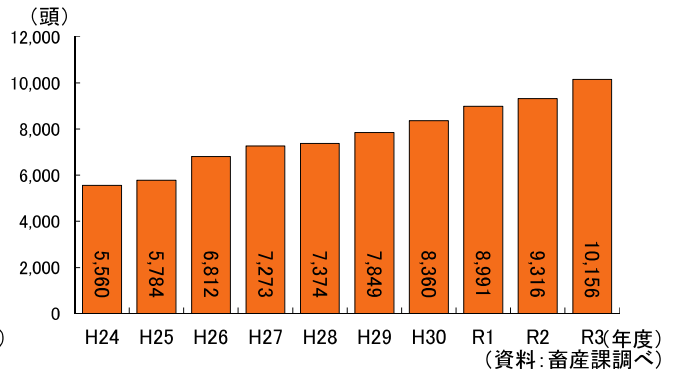
3 肉用子牛の販売先 (みやぎ総合家畜市場)



4 県内と畜頭数の推移



5 仙台牛出荷頭数の推移



「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」
 <第6区 総合評価群(種牛群)出品牛>
 4頭の種牛群と3頭の肉牛群が総合的に評価され、
 優等賞6席と九州農政局長賞を獲得



「仙台牛」
 「仙台牛」とは以下の①～④の条件を満たした牛肉を指す。
 ① 「黒毛和種」であり、
 ② 仙台牛生産登録農家が個体に合った肥育を行い、
 ③ 最長肥育地及び最終肥育地が宮城県である牛肉で、
 ④ 枝肉取引規格が「A-5」または「B-5」に格付・評価されたもの。
 ■ 商標登録：昭和63年度
 ■ 地域団体商標登録：平成19年度

■宮城県畜産試験場繋養基幹種雄牛一覽

令和5年2月1日現在

名号	生年月日	生産地	血統			直接検定		現場後代検定			
			父(産地)	母の父(産地)	母の母の父(産地)	回数	DG(kg)	回数	枝肉重量(kg)	脂肪交雑(BMS)	ロース芯面積(cm ²)
しげひろみ 茂洋美	H23.02.28	栗原市金成	茂洋(宮城)	勝忠平(鹿児島)	平茂勝(鹿児島)	177	1.12	11-1	502	8.6	67.2
ひろいなみ 洋糸波	H23.03.23	栗原市花山	茂洋(宮城)	茂糸波(宮城)	北国7の8(島根)	177	1.05	12-1	511	9.3	73.6
しげふくひさ 茂福久	H24.12.25	栗原市金成	茂洋(宮城)	安福久(栃木)	勝忠平(鹿児島)	186	1.17	13-1	493	10.9	82.8
ひらかつみ 平勝美(宮城)	H25.04.09	遠田郡美里町	忠勝美(宮城)	平茂勝(鹿児島)	第2波茂(宮城)	187	0.95	13-2	504	8.1	65.2
さつきしょう 皐月彰	H25.05.01	石巻市小船越	安平勝(宮城)	茂洋(宮城)	福之国(宮崎)	188	1.07	13-2	493	9.2	60.6
よしひさかつ 好久勝	H26.09.09	栗原市金成	好平茂(宮城)	安福久(栃木)	平茂勝(鹿児島)	194	1.03	15-2	542	8.8	75.1
やすゆりさち 安百合幸	H28.06.15	登米市南方町	百合茂(鹿児島)	安福久(栃木)	金幸(鹿児島)	203	1.61	16-1	525	9.5	73.7
かつみざくら 勝美桜1	H28.02.14	加美郡加美町	勝洋(宮城)	勝忠平(鹿児島)	安平(宮崎)	201	0.93	16-1	506	8.9	71.3
かつひでよし 勝秀好	H27.08.22	栗原市金成	好平茂(宮城)	勝忠平(鹿児島)	百合茂(鹿児島)	199	1.17	16-2	512	9.5	71.5
あきみつしげ 昭光茂	H29.03.24	角田市	好平茂(宮城)	百合茂(鹿児島)	福之国(宮崎)	207	1.11	17-2	543	9.6	71.3

注：DGは検定期間中の1日平均増体重(直接検定112日間)

脂肪交雑測定方法：脂肪交雑基準より判定

ロース芯面積測定部位：第6-7胸椎間



しげひろみ
「茂洋美」号



ひろいなみ
「洋糸波」号



しげふくひさ
「茂福久」号



ひらかつみ
「平勝美(宮城)」号



さつきしょう
「皐月彰」号



よしひさかつ
「好久勝」号



やすゆりさち
「安百合幸」号



かつみざくら
「勝美桜1」号



かつひでよし
「勝秀好」号

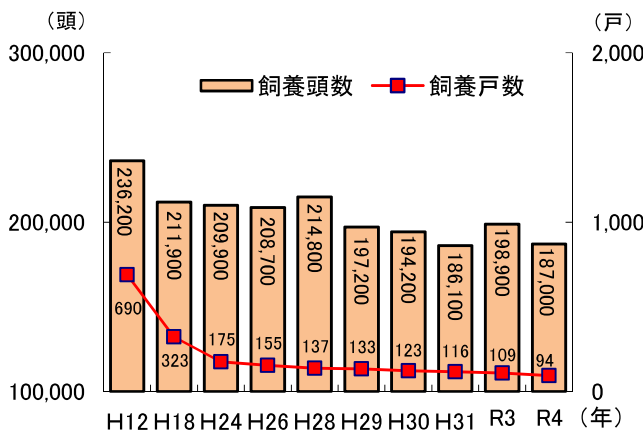


あきみつしげ
「昭光茂」号

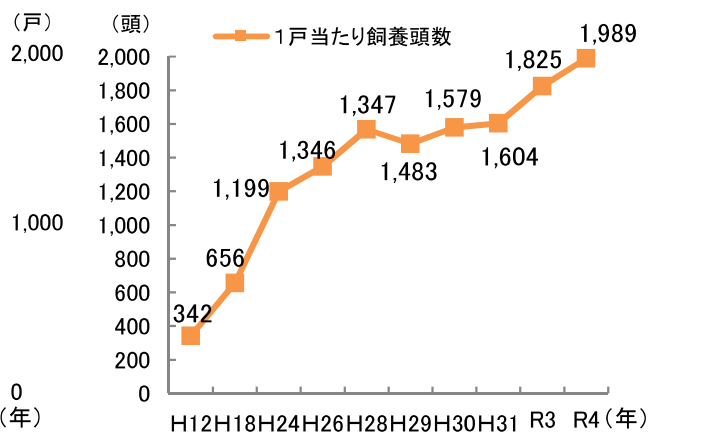
VI 豚

1 飼養戸数と頭数の推移

(豚の畜産統計数値について、平成27年2月1日・令和2年2月1日調査なし)

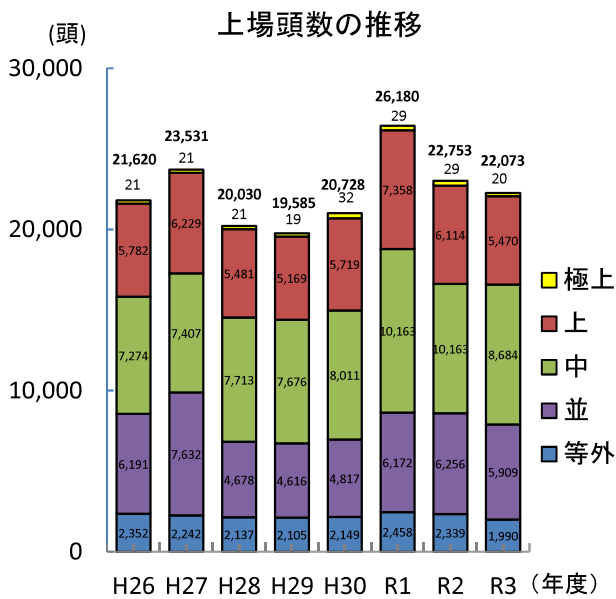


(資料: 畜産統計)

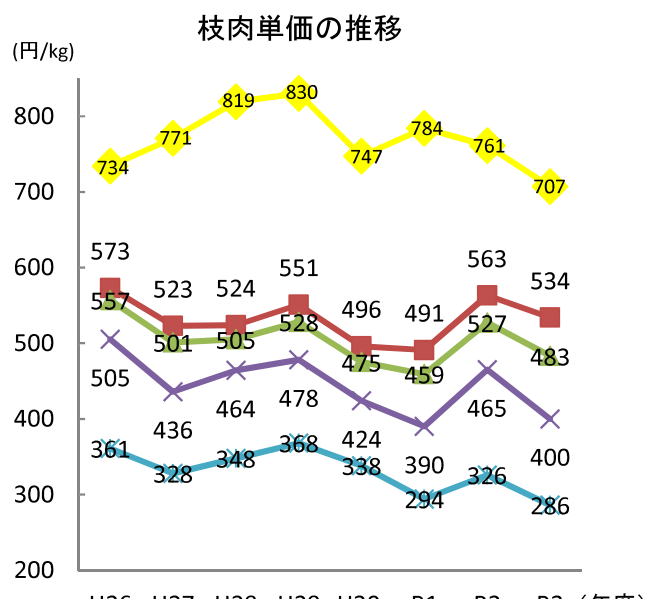


(資料: 畜産統計)

2 仙台中央卸売市場食肉市場上場頭数, 枝肉価格の推移

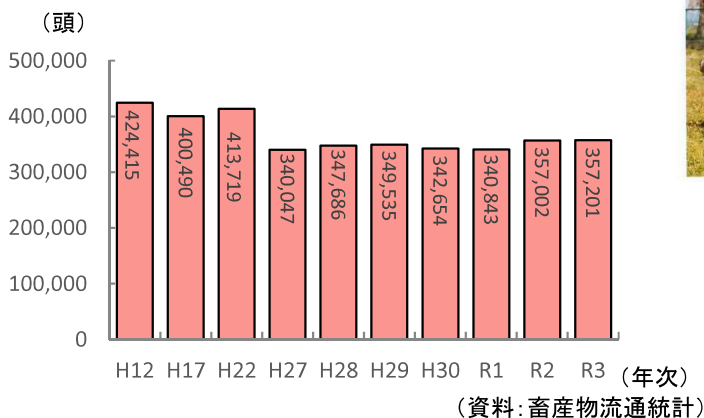


(資料: (株)仙台中央食肉卸売市場 HP)



(資料: (株)仙台中央食肉卸売市場 HP)

3 県内と畜頭数の推移



(資料: 畜産物流通統計)



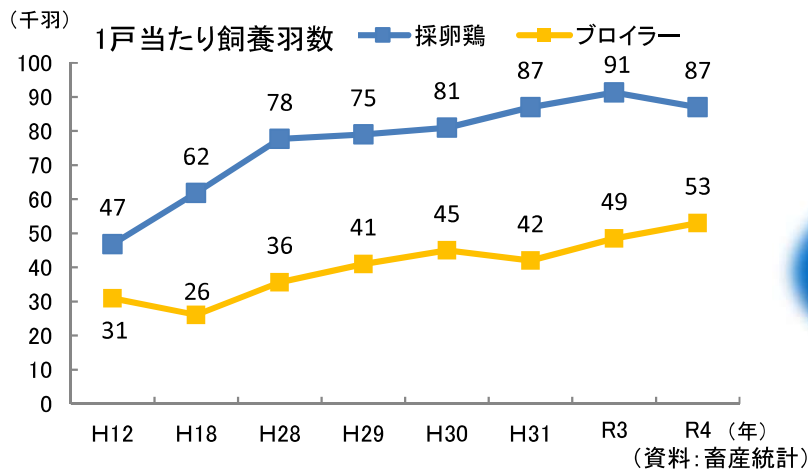
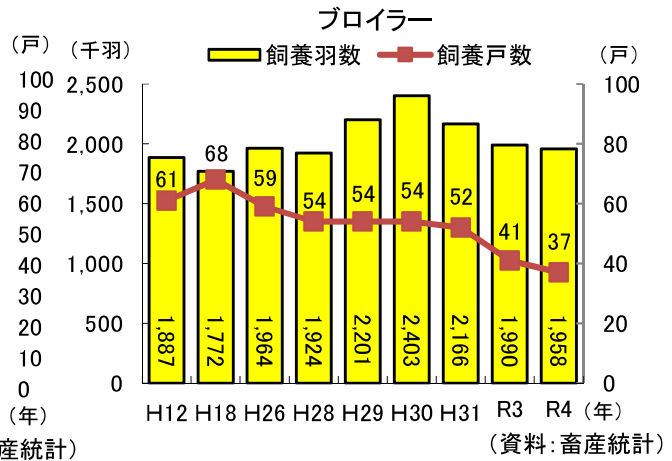
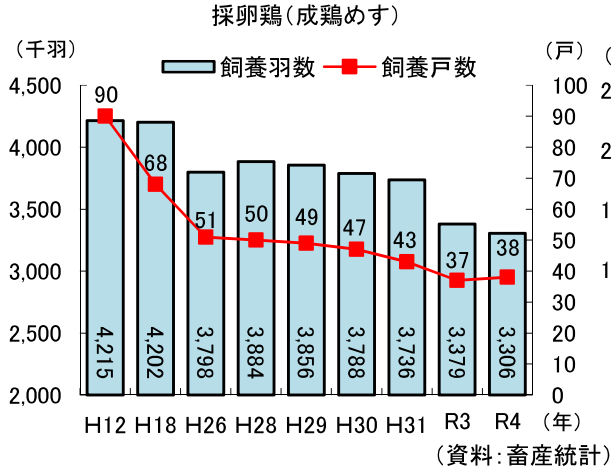
優良系統豚「しもふりレッド」「ミヤギノL2」

畜産試験場で育成された優良系統豚が、県内各地域で交雑肉豚生産に利用されています
 写真 左 デュロック種「しもふりレッド」
 右 ランドレース種「ミヤギノL2」

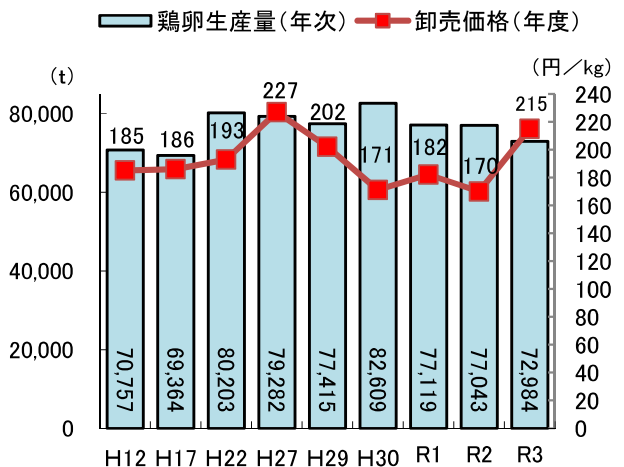
VII 鶏

1 飼養戸数と羽数の推移

(採卵鶏・ブロイラーの畜産統計数値について、平成27年2月1日・令和2年2月1日調査なし)

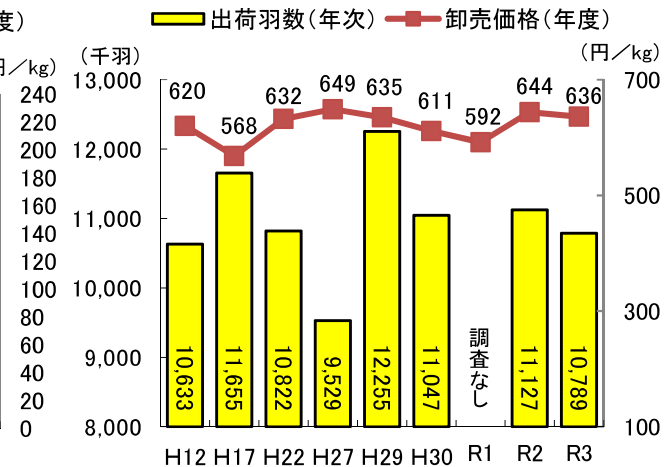


2 鶏卵生産量及び卸売価格の推移



※鶏卵生産量については宮城県、卸売価格は全国の数値
(資料:畜産物流通統計・食鳥流通統計)

3 ブロイラー出荷羽数及び価格の推移



※出荷羽数は宮城県、卸売価格は全国の数値
※H12～H22の出荷羽数は、各年1月1日～12月31日数値
H27～R3の出荷羽数は、各年2月2日～翌年2月1日数値
(資料:畜産物流通統計・畜産統計・食肉鶏卵速報)

VIII 食肉と家畜の流通

1 と畜関連施設

(1) と畜場

名称	所在地		電話番号	処理頭数(一日)		区分	
				大/小	小動物換算		
宮城県食肉流通センター	〒987-0311	登米市米山町字桜岡今泉314	0220-55-1111	-	一般 1,450 病畜 50	民営	一般
仙台市ミートプラント	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町6丁目3番6号	022-258-6011	200/950	1,550	公営	一般
宮城県畜産試験場内簡易と畜場	〒989-6445	大崎市岩出山南沢字樋渡1	0229-72-3101	-	10	公営	簡易

(2) 食鳥処理場

名称	所在地	電話番号	年間予定処理羽数	種類	主に処理される品種
株式会社ウェルファームフーズ宮城事業所	〒987-1103 石巻市北村字涌谷沢2-1	0225-73-2011	8,600,000	鶏	ブロイラー

(3) 認定小規模食鳥処理場

名称	所在地	電話番号	年間予定処理羽数	種類	主に処理される品種
(有)トミヤマ・スープ食品	〒989-4102 大崎市鹿島台木間塚字江合580-2	0229-56-3791	78,000	鶏	成鶏
(有)フレッシュバルバリー	〒986-0114 石巻市針岡字浦95	0225-64-2521	10,000	鶏、あひる	フランス鴨
宮崎かもかも倶楽部	〒981-4401 加美郡加美町宮崎字西原2番44-2	-	4,000	鶏、あひる	合鴨
天狗の丘食鶏処理場	〒989-4411 大崎市田尻八幡字天狗堂138	-	5,000	鶏	成鶏
カナル食品	〒981-2501 伊具郡丸森町大内字青葉43番地	-	休止中のため処理予定なし	あひる	フランス鴨
町田食鶏処理場	〒981-1505 角田市角田字町田368	0224-86-3951	50,000	あひる	合鴨

2 生体家畜市場

名称	所在地	電話番号	取引家畜の種類
みやぎ総合家畜市場	〒987-0005 遠田郡美里町北浦字生地22-1	0229-35-1155	子牛、2歳和牛、成畜、F1、肉牛等

3 仙台市中央卸売市場食肉市場

(1) 牛肉

(単位:頭, kg, 円/kg)

年度	牛						
	全搬入頭数	和牛雌搬入頭数	和牛雌平均重量	和牛雌「A5」価格	和牛去勢搬入頭数	和牛去勢平均重量	和牛去勢「A5」価格
H22	17,600	5,393	328.8	2,187	5,308	473.5	2,178
H27	14,218	3,945	374.2	2,702	5,478	516.2	2,668
H29	11,783	2,894	378.3	2,890	5,286	524.5	2,998
H30	10,976	3,135	374.8	2,877	4,602	537.2	2,884
R1	9,803	2,713	389.1	2,707	4,364	548.4	2,681
R2	12,073	3,425	382.3	2,626	5,479	546.7	2,628
R3	12,023	3,362	385.2	2,683	5,404	545.3	2,734

(資料: 仙台中央食肉卸売市場HP)

(2) 豚肉

(単位:頭, kg, 円/kg)

年度	豚		
	全搬入頭数	平均重量	「上」価格
H22	44,214	77.5	441
H27	23,531	78.7	523
H29	19,585	76.2	551
H30	20,728	75.8	496
R1	26,180	76.3	491
R2	22,753	76.2	563
R3	22,063	76.2	534



(資料: 仙台中央食肉卸売市場HP)

4 家畜商免許

令和3年末 登録件数	令和4年中 取消件数	令和4年中 交付件数	令和4年末 登録件数	内訳		
				個人	法人	使用人
1,124	9	7	1,122	1,097	19	6

(資料: 畜産課調べ)

IX 畜産物の放射性物質測定検査

畜産物の放射性物質測定検査（測定項目 放射性セシウム）



牛肉検査用機械



原乳検査用機械



生体検査用機械

年度	調査点数		
	原乳	牛肉(県内と畜場分)	牛肉(県外と畜場分)
平成27年度	155	17,139	9,910
平成28年度	125	15,517	9,587
平成29年度	115	15,143	11,022
平成30年度	60	14,714	10,992
令和元年(平成31年度)	60	14,154	11,095
令和2年度	60	5,055	0
令和3年度	33	5,157	0
令和4年度(4月～2月)	18	4,977	0

注)平成24年10月以降,全検体が食品衛生法で定められている基準値以下

(資料:畜産課調べ)

基準値

原乳:平成24年4月1日から,200ベクレル/kgから50ベクレル/kgに変更

牛肉:平成24年10月1日から,500ベクレル/kgから100ベクレル/kgに変更

牛肉:平成23年8月24日と畜から全頭検査開始

令和2年4月1日と畜から抽出(一部対象牛)検査へ移行

X 畜産物の消費動向

1人当たり年間消費量(全国)

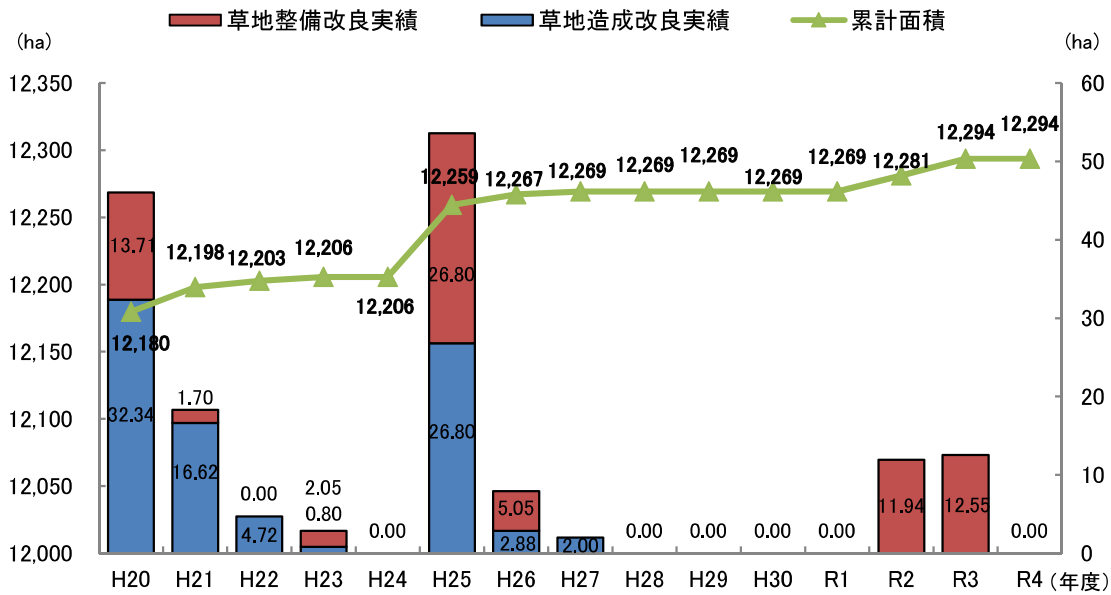
年度	牛肉		豚肉		鶏肉		鶏卵	
	消費量(kg)	家計消費量(g)	消費量(kg)	家計消費量(g)	消費量(kg)	家計消費量(g)	消費量(kg)	家計消費量(g)
平成22年度	5.9	2,235	11.7	6,064	11.3	4,398	16.5	10,032
平成23年度	6.0	2,209	11.9	6,186	11.4	4,625	16.7	10,004
平成24年度	5.9	2,208	11.8	6,158	12.0	4,774	16.7	9,913
平成25年度	6.0	2,238	11.8	6,455	12.0	5,031	16.8	9,812
平成26年度	5.9	2,146	11.9	6,323	12.2	5,137	16.7	9,906
平成27年度	5.8	2,088	12.2	6,719	12.6	5,287	16.9	10,029
平成28年度	6.0	2,141	12.4	6,852	13.0	5,455	16.9	10,420
平成29年度	6.3	2,225	12.8	7,011	13.4	5,464	17.4	10,599
平成30年度	6.5	2,276	12.9	7,286	13.7	5,729	17.4	10,707
令和元年度	6.5	2,220	12.8	7,193	13.9	5,754	17.6	10,840
令和2年度	6.5	2,451	12.9	7,824	13.9	6,425	17.1	11,561
令和3年度	6.2	2,266	13.2	7,714	14.4	6,275	17.2	11,177

(資料:食肉鶏卵速報)



XI 草地飼料

1 草地造成改良及び草地整備改良の実績（草地飼料関係事業）



注) 草地整備改良：既存の草地を対象とした利用の効率化を図るもの。基盤修正等を含む。
 草地造成改良：現況が野草地等を草地に転換すること。前植生や障害物の処理等を含む。

2 県内公共牧場における飼養頭数の推移

(毎年7月1日現在)

No.	牧場名	牧場所在地(代表地点)	受入牛	所有主体名	飼養頭数(7月1日現在)〔単位:頭〕													
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	うち放牧	うち放牧	うち放牧	うち放牧	うち放牧	うち放牧	
1	石巻市 河北上品山牧場	石巻市三輪田字寄藤6番2	肉用牛	石巻市	40	41	40	47	47	38	36	29	29					
2	七ヶ宿町 柏木山放牧場	刈田郡七ヶ宿町字柏木山	休止	七ヶ宿町	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
3	丸森町町営放牧場	丸森町筆甫字南山地内	肉用牛 乳用牛	丸森町	142	143	153	145	145	93	42	27	112	112				
4	栗原市営深山牧場	栗原市栗駒文字馬立場50-1	肉用牛	栗原市	85	99	95	241	241	91	79	79	79	79				
5	金成牧場	栗原市金成柵木沢・藤渡 戸・赤尻・有壁	休止	栗原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
6	気仙沼市 本吉放牧場	気仙沼市本吉町角柄15-4	乳用牛	気仙沼市 本吉放牧場	59	49	43	70	70	71	71	79	79					
7	大崎市営 鳴子放牧場	大崎市鳴子温泉鬼首字禿岳地内	肉用牛	大崎市	98	98	94	97	97	73	73	83	83	令和5年度 調査実施 予定				
8	小野田菜葉原放牧場	加美町字菜葉原1-189	肉用牛 乳用牛	加美町	131	136	108	164	164	123	123	158	158					
9	一の沢放牧場 (一の沢肉用牛育成センター)	色麻町王城寺字一の沢地内	肉用牛	色麻町	22	23	-	20	20	31	31	28	28					
10	平沢放牧場	色麻町平沢字北山一番4の内	休止	色麻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
11	小栗山放牧場	色麻町小栗山字岳山地内	休止	色麻町	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
12	岩出山牧場	大崎市岩出山南沢字小池坂西5	肉用牛	宮城県	186	188	214	227	227	211	132	172	85					
13	白石牧場	白石市福岡深谷字正人権1-1	肉用牛	(公)みやぎ農 業振興公社	349	502	500	80	505	80	511	125	522		-			

(資料: 公共牧場経営実態等調査)

3 県内飼料作物栽培面積の推移

(単位:ha)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全体面積	17,900	18,200	18,400	17,700	18,200	21,400	22,400	22,400
(対前年比)	(105)	(102)	(101)	(96)	(103)	(118)	(105)	(100)	(...)	(...)	(...)	(...)	(...)
牧草	13,300	13,200	13,000	12,900	12,700	12,700	12,600	12,300	12,000
とうもろこし	1,470	1,440	1,410	1,400	1,310	1,320	1,180	1,180	1,150
稲WCS	1,191	1,351	1,603	1,564	1,724	2,107	2,086	2,147	2,006	2,053	2,070	2,244	2,672
飼料用米	1,459	1,763	1,903	1,475	1,954	4,850	5,915	6,228	5,553	4,871	4,913	8,076	10,416
10a当たり収量													
牧草	2,750	2,500	2,010	2,100
とうもろこし	4,620	4,550	3,610	3,890

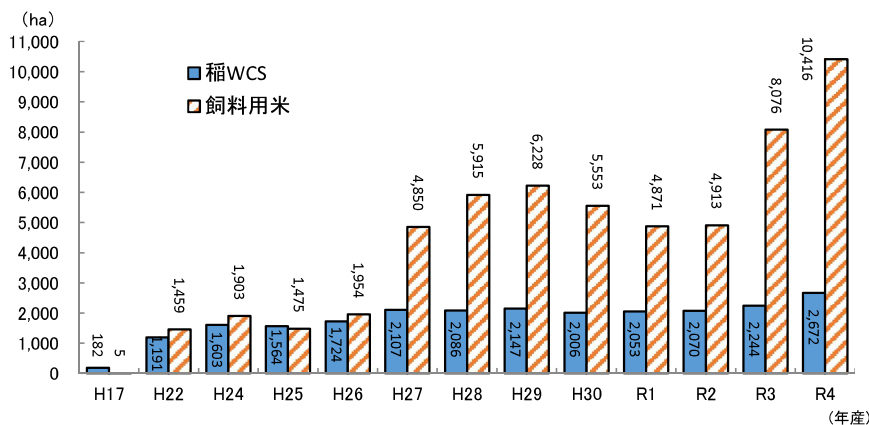
※1 稲WCS及び飼料用米の面積は、H21年以前は県独自調査、H22年以降は新規需要米取組認定状況より引用

※2 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの

※3 牧草及びとうもろこしの作付面積については、H29年から3年に1度調査を実施

資料：農林水産統計(牧草、とうもろこしの面積)
県独自調査及び新規需要米取組認定状況(稲WCS、飼料用米の面積)

4 飼料用稲WCS・飼料用米の栽培状況



(資料：新規需要米取組認定状況)



飼料用トウモロコシ収穫



牧草の収穫調製作業

5 粗飼料等の放射性物質検査(令和4年産)

(1) 永年生牧草(生産者毎の検査)

区分	検体数	基準値 超過数	検査 実面積	基準値 超過面積	超過面積 割合	基準値
肉用牛	215点	2点	127ha	1ha	1.0%	100Bq/kg
酪農	57点	0点	129ha	0ha	0.0%	50Bq/kg
計	272点	2点	256ha	1ha	0.5%	—

注)水分80%補正值

(2) 永年生牧草(モニタリング検査)

区分	旧市町村	基準値 超過数	基準値
肉用牛、酪農	41	0	100Bq/kg, 50Bq/kg



飼料用稲WCS実証展示ほ
中間検討会の様子

(3) 稲わら(モニタリング検査)

検査なしで自粛解除

6 宮城県飼料作物奨励品種一覧

1 オーチャードグラス

品種名	早晩性	越冬性	越夏性
アキミドリⅡ	極早生	○	◎
ポトマック	早 生	○	○
ナツミドリ	早 生	△	◎
まきばたろう	中 生	○	○

2 イタリアンライグラス

品種名	早晩性	春播性	耐寒性	耐雪性
ニオウダチ	早 生	○	○	○
ワセアオバ	早 生	○	○	○
タチワセ	早 生	○	△	○
はたあおば	早 生	○	△	○
クワトロ-TK5	早 生	△	◎	◎
うし想い	早 生	△	○	○
タチユウカ	早 生	△	○	○
タチマサリ	早 生	△	○	○
ナガハヒカリ	中 生	△	○	◎
タチムシャ	中 生	○	○	△
タチサカエ	中 生	△	◎	○
マンモスイタリアンB	中晩生	◎	◎	○
ジャイアント	中晩生	×	◎	○
エース	晩 生	×	○	◎
アキアオバ3	極晩生	×	○	◎

3 チモシー

品種名	早晩性	越冬性	越夏性
クンプウ	極早生	○	○
クライマックス	中 生	◎	△

4 トールフェスク

品種名	早晩性	越冬性	越夏性
サザンクロス	中 生	△	◎

5 ペレニアルライグラス

品種名	早晩性	越冬性	越夏性
ヤツカゼ2	中 生	◎	○
フレンド	晩 生	◎	△
夏ごしペレ	晩 生	◎	◎

6 リードカナリーグラス

品種名	早晩性	越冬性	越夏性
パラトン	中 生	○	○

7 シロクローバ

品種名	区分	越冬性	越夏性
フィア	中葉型	◎	○

8 ソルガム

品種名	早晩性	耐倒伏性
スタックス	中 生	△
甘味ソルゴー	晩 生	○
秋立	晩 生	◎

9 スーダングラス

品種名	早晩性	耐倒伏性
シュガースリム	早 生	△
ヘイスーダン	早 生	△

10 ライムギ

品種名	早晩性	耐寒性
キングライ麦	早 生	◎
春一番	早 生	◎
ハルミドリ	早 生	◎

11 エンバク

品種名	早晩性	耐寒性
はえいぶき	極早生	△
アウテナストリゴザ ヘイオーツ	早 生	△

12 飼料用イネ

品種名	早晩性
夢あおば	中生の早
ホシアオバ	極晩生
リーフスター	極晩生
たちあやか	極晩生

13 飼料用トウモロコシ

系統名	品 種 名	早晩性	収量性	耐倒伏性	耐 病 性				
					ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病
KD421	ゴールドデントKD421	極早生	◎	○	○	○	○	◎	○
P9027	ハイオニア93日	極早生	○	○	○	○	○	◎	○
SL0746	ネオデント・エスパス95	極早生	◎	○	○	○	○	◎	○
36B08	ハイオニア106日	早 生	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
北交72号	きみまる	早 生	○	○	○	○	△	○	○
長交C949号	効ネスター	早中生	◎	○	○	○	○	○	○
SH4681	スノーデント115	早中生	◎	△	○	○	◎	○	○
P2088	ハイオニア118日	早中生	○	○	○	○	○	○	○
9F016	Z-corn118	早中生	○	○	○	○	○	○	○
SH5702	スノーデント118R	早中生	○	○	○	○	○	○	○
P2105	ハイオニア123日	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○
SH2821	スノーデント125T	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○
SH4812	スノーデントSH4812	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○
1F020	Zコーン125	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○
P2307	ハイオニア125日	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○
KD777N	ゴールドデントKD777NEW	中 生	◎	○	○	○	○	◎	○

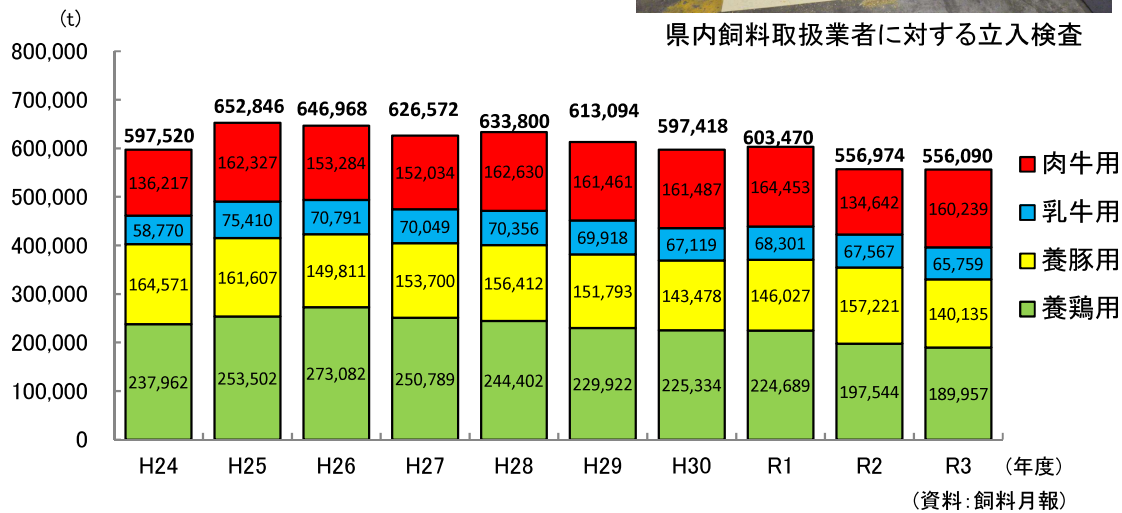
凡例 ◎:優れている ○:普通 △:やや劣る ×:劣る

XII 配合飼料

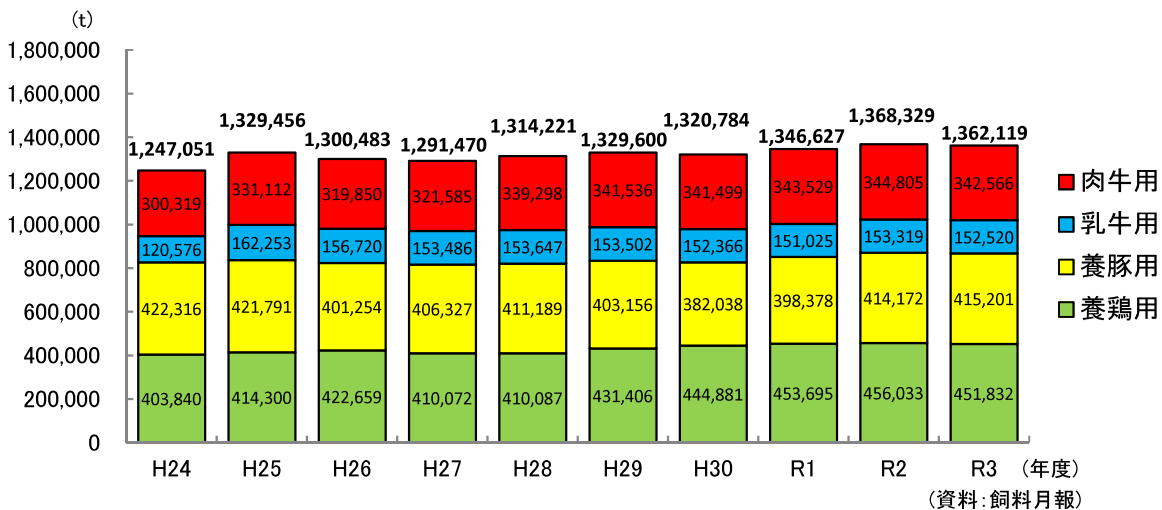
1 配合飼料の宮城県向け出荷数量



県内飼料取扱業者に対する立入検査



2 宮城県の配合飼料生産数量



3 全国の配合飼料価格安定制度と補てん金の動向

[単位: 円]

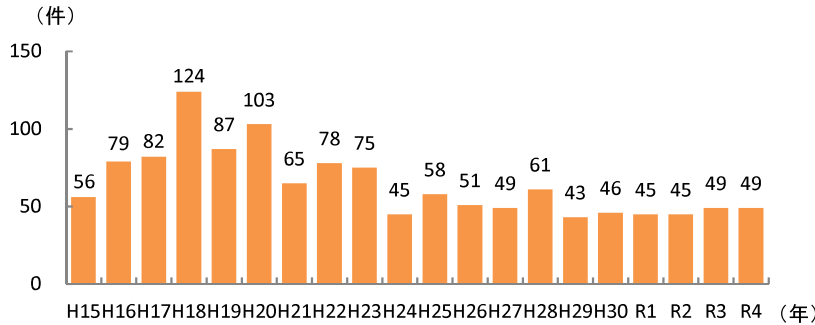
時期	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
平均輸入原料価格	27.655	25.349	25.078	29.669	36.835	41.353	41.520	42.665	50.462	60.846	63.264	
補てん金	0	0	0	3.300	9.900	12.200	8.500	5.200	9.800	16.800	7.750	
鶏 (成鶏用)	うち通常補てん	0	0	0	3.300	3.999	4.934	4.372	3.451	5.039	5.454	7.254
	異常補てん	0	0	0	5.901	7.266	4.128	1.749	4.761	11.346	496	
鶏 (ブロイラー)	農家購入価格	80.977	80.060	81.630	85.883	90.923	95.460	94.473	99.220	103.533	113.500	114.667
	農家実質負担額	80.977	80.060	81.630	82.583	81.023	83.260	85.973	94.020	93.733	96.700	106.917
豚 (若齢育成用)	農家購入価格	69.560	68.413	70.007	74.487	79.687	85.107	83.997	87.540	91.470	101.070	103.233
	農家実質負担額	69.560	68.413	70.007	71.187	69.787	72.907	75.497	82.340	81.670	84.270	95.483
乳牛	農家購入価格	66.833	65.590	67.153	71.077	76.643	81.817	80.343	83.110	86.730	96.343	97.010
	農家実質負担額	66.833	65.590	67.153	67.777	66.743	69.617	71.843	77.910	76.930	79.543	89.260
肉牛 (肥育用)	農家購入価格	70.410	69.837	71.393	74.680	79.953	84.517	83.097	86.693	90.433	100.187	101.000
	農家実質負担額	70.410	69.837	71.393	71.380	70.053	72.317	74.597	81.493	80.633	83.387	93.250
養豚	農家購入価格	66.873	66.150	67.533	69.893	74.373	79.330	78.760	80.977	84.233	92.303	93.483
	農家実質負担額	66.873	66.150	67.533	66.593	64.473	67.130	70.260	75.777	74.433	75.503	85.733

(農業物価統計調査より数値引用)

X III 畜産環境

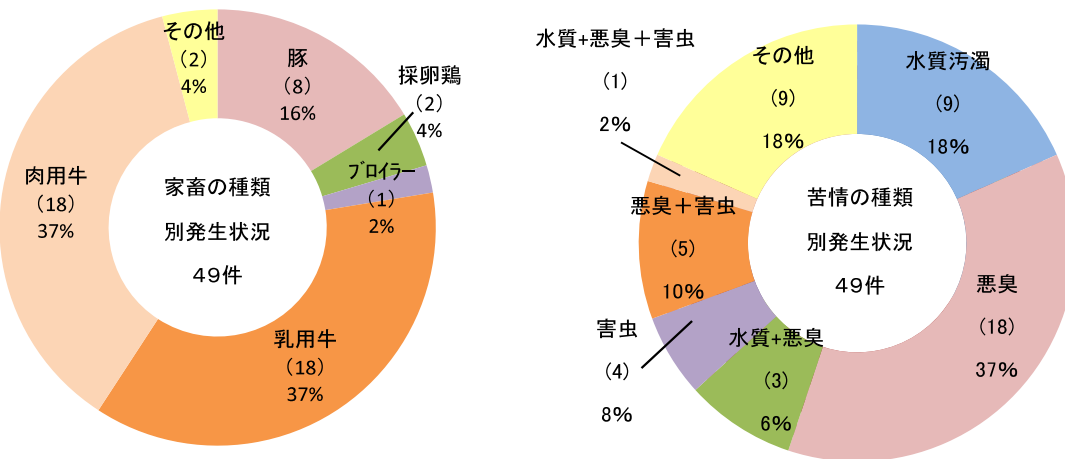
1 環境問題の発生状況

(1) 発生件数の推移



資源リサイクル畜産環境整備事業により機能保全を図った「気仙沼市本吉有機肥料センター」

(2) 環境問題内訳 (令和4年) ※R3年7月1日～R4年6月30日



2 たい肥センター

たい肥センター名	設置団体	住所	管理団体	処理方式	開設年度
角田市農業の館	角田市	角田市佐倉字中島111番地4	JAみやぎ仙南	バドル	H19
黒佐野堆肥センター	丸森町	丸森町大内字黒佐野120-1	黒佐野地区有機利用組合	堆積型たい肥舎	H16
筆甫堆肥センター	丸森町	丸森町筆甫字東山3-2	筆甫地区有機利用組合	堆積型たい肥舎	H18
峠堆肥センター	丸森町	丸森町字峠橋元21-2	峠地区有機利用組合	堆積型たい肥舎	H18
館矢間たい肥センター	丸森町	丸森町館矢間館山字沖東7,17	館矢間地区有機利用組合	堆積型たい肥舎	H19
エコ・マックスせんだい	根白石有機肥料生産組合	仙台市泉区福岡字岳山7-2地内	設置団体に同じ	ロータリー	H15
JA新みやぎあさひなオーガニックプラント	JA新みやぎ	大郷町大松沢字葉研沢堤下11-44	JA新みやぎあさひな地区本部	ロータリー	H8
満谷町土づくりセンター	満谷町	満谷町上郡字玉崎山53-33	ECO有機利用組合	通気型堆肥舎	H15
Hi-sof21通木リサイクルセンター	Hi-sof21通木	大崎市田尻通木字田中前119-4	設置団体に同じ	ロータリー	H14
沼部エコセンター	沼部エコセンター	大崎市田尻東道下	設置団体に同じ	ロータリー	H15
加美町土づくりセンター	加美町	加美町菜切谷字青木原28-282	(一社)加美町畜産公社	ロータリー	H21
栗原市築館有機肥料センター	栗原市	栗原市築館字照越首塚29-91	設置団体に同じ	スクープ	H12
栗原市金成有機センター	栗原市	栗原市金成末野下満山9-7	設置団体に同じ	スクープ	H16
栗原市栗駒有機センター	栗原市	栗原市栗駒稲敷数天王山2-16	設置団体に同じ	スクルー	H19
迫有機センター	登米市	登米市迫町新田字井守沢153-1	JAみやぎ登米迫富農経済センター	バドル	H16
中田有機センター	登米市	登米市中田町上沼字中田町地内	JAみやぎ登米なかだ富農経済センター	スクープ	H16
石越有機センター	登米市	登米市石越町南郷字新小高46	JAみやぎ登米石越富農経済センター	スクープ	H13
南方有機センター	登米市	登米市南方町新鳩塚1	JAみやぎ登米南方富農経済センター	スクープ	H16
豊里有機肥料センター	登米市	登米市豊里町三番江28	JAみやぎ登米豊里富農センター	スクープ	H11 (H29機能保全)
とよま有機センター	登米市	登米市登米町小島新田待井下348	JAみやぎ登米とよま富農センター	オープンロータリー	H19
JAみやぎ登米米山有機センター	JAみやぎ登米	登米市米山町西野字新石川4-1	JAみやぎ登米	自走式混合堆積機	H11
気仙沼市本吉有機肥料センター	気仙沼市	気仙沼市本吉町角橋15-4	気仙沼市	スクープ	H11 (H29機能保全)
石巻市河北大谷地堆肥センター	石巻市	石巻市小船越字三番江一番地	大谷地堆肥生産組合	通気型たい肥舎	H10
石巻市かなん有機センター	石巻市	石巻市広瀬字四区1	かなん有機肥料生産組合	スクープ	H16
石巻市桃生堆肥処理センター	石巻市	石巻市桃生町神取字観音田266-1	桃生町堆肥生産組合	ロータリー	H4
石巻市北上堆肥センター	石巻市	石巻市北上町大川字石神66	(株)アイケー・エス	ロータリー	S60

XIV 家畜衛生

1 家畜伝染性疾病発生状況

(1) 家畜伝染病発生状況

畜種	病名	H26		H27		H28		H29		H30		R1 (H31)		R2		R3		R4	
		戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数	戸数	頭羽数
牛	ヨーネ病	3	18	4	8	4	7	5	6	3	4	3	4	3	4			4	13
豚	豚熱															2	6※		
鶏	高病原性鳥インフルエンザ							1	7※					1	※			2	2

※疑似患者 222,283羽

※疑似患者 517羽

※疑似患者 4戸18,156頭
疫学関連農場 2戸含む

HPAI 疑似患者 計46,128羽

(2) 届出伝染病発生状況

畜種	病名	H26		H27		H28		H29		H30		R1 (H31)		R2		R3		R4	
		戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
牛	牛伝染性リンパ腫	77	79	66	73	78	78	94	95	112	124	132	141	133	138	135	143	166	172
	破傷風	1	1	1	1							1	1					2	3
	牛ウイルス性下痢					1	1												
	アカバネ病																		
	悪性カタル熱	1	1																
	サルモネラ症					3	7	1	1	1	15								
	ネオスポラ症																		
	牛伝染性鼻気管炎			1	2														
	牛カンピロバクター症			1	1														
豚	豚丹毒	17	36	24	56	24	112	19	24	16	40	9	44	13	45	14	51	9	10
	豚繁殖・呼吸障害症候群			1	3									2	2	1	2	1	2
	サルモネラ症			1	1	1	2									1	3	3	4
	豚赤痢							14	42	5	9	5	8	1	1	4	5	1	1
	豚流行性下痢	17	90	3	131														
	エンテロウイルス性脳脊髄炎									1	1								
鶏	鶏痘																		
	ロイコチゾーン病	1	2													1	420		
	鶏伝染性気管支炎										1	2							
蜜蜂	アカリシダニ症								1	1			2	2	1	11	3	3	
犬	レプトスピラ症					1	1				1	1	2	2	1	1			

2 特定家畜伝染病発生に伴う防疫措置状況について

(1) 石巻市での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置【令和3年度】

発生日	令和4年3月25日(金)
所在地	石巻市
殺処分の期間	令和4年3月25日(金) 午前10時から 令和4年3月27日(日) 午前5時まで
殺処分羽数	27,788羽
畜舎の清掃・消毒	令和4年3月28日(月) 完了
汚染物品の処理	令和4年3月28日(月) 完了
防疫措置完了	令和4年3月28日(月) 午前8時30分 完了

汚染物品：発生農場由来の排せつ物、飼料などのウイルスに汚染したおそれのある物品

防疫措置の実施体制	延べ人数
(R4. 3. 25~28)	
市町	約20人
民間団体	約390人
小計	約410人
県職員	約1,890人
合計	約2,300人

(2) 気仙沼市での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置【令和4年度 県内1例目】

発生日	令和4年11月23日(水)
所在地	気仙沼市
殺処分の期間	令和4年11月23日(水) 午前11時から 令和4年11月24日(木) 午前9時45分まで
殺処分羽数	20,740羽(死亡鶏2,400羽含む)
畜舎の清掃・消毒	令和4年11月24日(木) 完了
汚染物品の処理	令和4年11月24日(木) 完了
防疫措置完了	令和4年11月24日(木) 午後8時45分 完了

汚染物品：発生農場由来の排せつ物、飼料などのウイルスに汚染したおそれのある物品

防疫措置の実施体制	延べ人数
(R4. 11. 23, 24)	
市町	約6人
民間団体	約106人
小計	約112人
県職員	約1,031人
合計	約1,143人

(3) 角田市での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置【令和4年度 県内2例目】

発生日	令和5年1月28日(土)
所在地	角田市
殺処分の期間	令和5年1月28日(土) 午前10時から 令和5年1月28日(土) 午後8時16分まで
殺処分羽数	10,079頭(死亡家きん584羽含む)
畜舎の清掃・消毒	令和5年1月29日(日) 完了
汚染物品の処理	令和5年1月29日(日) 完了
防疫措置完了	令和5年1月29日(日) 午前11時35分 完了

汚染物品：発生農場由来の排せつ物、飼料などのウイルスに汚染したおそれのある物品

防疫措置の実施体制	延べ人数
(R5. 1. 28, 29)	
市町	約30人
民間団体	約150人
小計	約180人
県職員	約870人
合計	約1,050人



〔鶏舎での防疫作業の状況〕



〔農場前テントでの防護服着衣〕



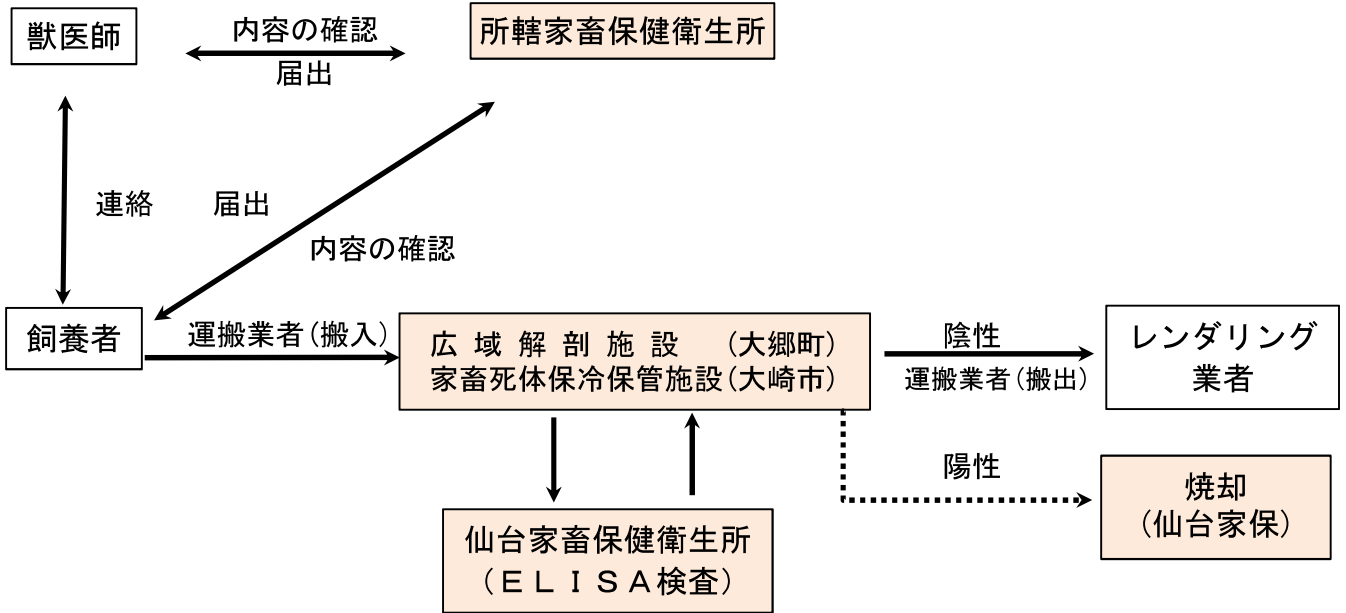
〔埋却溝に投入した汚染物品等〕

3 防疫体制

(1) 家畜保健衛生所の概要



(2) 県内における死亡牛のBSE検査体制及び検査頭数



(検査頭数) (単位：頭)

年度 月	H26	H27 (※1)	H28	H29	H30	R元 (※2)	R2	R3
4	213	109	105	110	128	40	41	59
5	201	122	81	103	147	34	40	37
6	188	121	101	99	131	27	35	45
7	209	153	133	141	145	41	57	34
8	247	181	141	150	177	54	37	41
9	206	143	156	128	138	61	55	43
10	229	121	116	127	163	42	36	33
11	161	109	114	118	134	38	37	27
12	171	127	101	125	135	47	52	56
1	191	109	107	141	130	44	56	60
2	159	110	101	122	130	55	53	45
3	169	92	123	101	116	41	34	48
合計	2,344	1,497	1,379	1,465	1,674	524	533	528

(参考) 過去の年度別検査頭数

H15:2,673, H16:2,408, H17:2,235, H18:2,276, H19:2,316, H20:2,170
 H21:2,381, H22:2,526, H23:2,795, H24:2,940, H25:2533 (単位：頭)

(※1) H27年度から検査対象月齢が48ヶ月齢以上（それ以前は24ヶ月齢以上）。

(※2) R元年度から検査対象月齢が96ヶ月齢以上。ただし、生前にBSEを疑う症状を呈した牛は、月齢を問わず検査対象とし、また、起立不能を呈した牛、又は、監視伝染病に罹患した牛は、検査対象月齢が48ヶ月齢以上となった。

(3) 家畜防疫員の配置状況

総計	獣医師									獣医師の 以外
	県職員					民間団体			個人診療	
	小計	畜産課	家畜防疫 対策室	家畜衛生 保健所	畜産試験場	小計	農業協 会	その他		
159	51	1	6	40	4	26	0	26	23	59

令和4年12月31日現在

(4) 自衛防疫

(宮城県畜産協会予防接種事業)

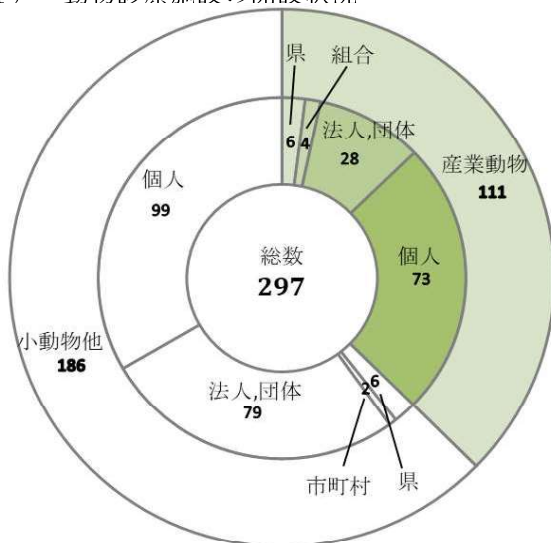
畜種	事業名	年度				R元	R2	R3	R4
		H28	H29	H30					
牛	アカバネ病	22,552	23,182	22,513	22,323	22,169	21,300	20,366	
	炭疽	12,124	11,309	9,593	0	0	0	0	
	呼吸器5種混合	17,100	17,138	16,656	16,357	16,491	16,098	12,079	
	ヒストフィルス・ソムニ感染症	8,543	5,172	4,765	8,628	15,700	15,236	11,324	
	牛5種混・牛ヘモ混合	6,980	10,772	11,276	6,886	-	-	-	
	呼吸器6種混合	77	40	0	0	0	0	0	
豚	豚丹毒(生・不活化)	34,647	43,574	45,993	49,778	50,298	40,869	13,157	
	豚日本脳炎	515	510	5	2	0	0	0	
	異常産3種混合	820	681	599	489	473	459	507	
	伝染性胃腸炎(TGE)	0	0	0	0	0	0	0	
	TGE・流行性下痢混合	957	1,005	766	606	74	10	0	
	オーエスキー病	-	-	-	-	-	-	-	
	豚パルボウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	
馬	馬日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	
	馬3種混合	1	0	0	0	3	1	4	
	馬鼻肺炎	14	10	7	8	0	1	1	
	馬インフルエンザ	104	96	98	117	83	88	77	

※馬については、馬伝染性疾病防疫推進対策事業(中央畜産会)

令和4年12月31日現在

4 診療施設と獣医師

(1) 動物診療施設の開設状況



(2) 獣医師の就業状況

獣医師法の届出集計 (R4. 12. 31現在)

区分		人数		
獣医事に 従事する者	公 国家 務 員	農林畜産	4	
		公衆衛生	0	
		環境	2	
		その他	0	
	県 職 員	農林畜産	54	
		公衆衛生	64	
		教育	1	
		環境	5	
		その他	1	
	市 町 村 職 員	農林畜産	0	
		公衆衛生	53	
		教育	0	
		環境	0	
		その他	10	
	民間団体職員		97	
	個 人 施 設 診 療	産業動物	開設者	68
			雇用者	8
		犬 猫	開設者	132
			雇用者	122
		その他	開設者	0
雇用者			2	
その他		2		
獣医事に従事しない者		63		
計		688		

X V 動物薬事

(1) 許認可施設数

(令和4年4月1日現在)

業種		家保				
		大河原	仙台	北部	東部	合計
医薬品販売業	店舗	0	4	5	1	10
	卸売	3	20	1	0	24
	薬種商	0	0	0	0	0
	特例店舗	22	83	55	60	220
	小計	25	107	61	61	254
売・療 賃機器 業販	高度管理医療機器	0	24	4	1	29
	管理医療機器	0	44	2	2	48
	小計	0	68	6	3	77
動物用再生医療等製品販売業		0	1	2	0	3
製造業	医薬品	0	2	0	0	2
	医薬部外品	0	1	0	0	1
	医療機器	0	0	0	0	0
	小計	0	3	0	0	3
製造販売業	医薬品	0	1	0	0	1
	医薬部外品	0	1	0	0	1
	医療機器	0	1	0	0	1
	小計	0	3	0	0	3
医療機器修理業		0	18	0	0	18
合計		25	200	69	64	358

(2) 監視指導状況

(令和3年度)

検査対象		区分		
		立入検査対象箇所数	立入検査実施箇所数	指導件数
医薬品販売業	店舗	10	4	1
	卸売	24	5	0
	薬種商	0	0	0
	特例店舗	220	49	6
	小計	254	58	7
売・療 賃機器 業販	高度管理医療機器	29	5	0
	管理医療機器	48	3	1
	小計	77	8	1
動物用再生医療等製品販売業		3	3	0
製造業	医薬品	2	2	0
	医薬部外品	1	0	0
	医療機器	0	0	0
	小計	3	2	0
製造販売業	医薬品	1	1	0
	医薬部外品	1	1	0
	医療機器	1	1	0
	小計	3	3	0
医療機器修理業		18	1	0
飼育動物診療施設		299	30	7

XVI 宮城県畜産関係行政機関一覧



番号	公 所 名	郵便番号	住 所	電話番号
①	大河原家畜保健衛生所	989-1243	柴田郡大河原町南129-1(宮城県大河原合同庁舎内)	0224-53-3538
	大河原農業改良普及センター			0224-53-3496
②	仙台家畜保健衛生所	983-0832	仙台市宮城野区安養寺3-11-22	022-257-0921
③	北部家畜保健衛生所	989-6117	大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)	0229-91-0729
	大崎農業改良普及センター			0229-91-0726
④	東部家畜保健衛生所	987-0511	登米市迫町佐沼字西佐沼150-5(宮城県登米合同庁舎内)	0220-22-2349
	登米農業改良普及センター			0220-22-6127
⑤	北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部	987-2251	栗原市築館藤木5-1(宮城県栗原合同庁舎内)	0228-22-2487
	栗原農業改良普及センター			0228-22-9437
⑥	東部地方振興事務所畜産振興部	986-0850	石巻市あゆみ野5-7(宮城県石巻合同庁舎内)	0225-95-1438
	石巻農業改良普及センター			0225-95-7612
⑦	亘理農業改良普及センター	989-2301	亘理郡亘理町逢隈中泉字本木9	0223-34-1141
⑧	仙台農業改良普及センター	981-8505	仙台市青葉区堤通雨宮町4-17(宮城県仙台合同庁舎内)	022-275-8374
⑨	美里農業改良普及センター	987-0005	遠田郡美里町北浦字笹館5	0229-32-3115
⑩	気仙沼農業改良普及センター	988-0181	気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6(宮城県気仙沼合同庁舎内)	0226-25-8068
⑪	畜産試験場	989-6445	大崎市岩出山南沢字樋渡1	0229-72-3101
⑫	農政部畜産課	980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2851

みやぎの畜産

令和5年3月発行

編集・発行 宮城県農政部畜産課・家畜防疫対策室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL 022-211-2851

FAX 022-211-2859

MAIL tikusan01@pref.miyagi.lg.jp